

介護保険事業支援計画に記載した、市町村が行う自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組の支援についての目標（平成30年度）に対する自己評価結果

都道府県名： 静岡県

**ア 取組の支援についての自己評価結果**

項目名

2 地域ケア会議の推進

目標を設定するに至った現状と課題

- ・地域ケア会議は、市町や地域包括支援センターが多職種で高齢者への適切な支援と必要な支援体制について検討するものであり、地域包括ケアシステムを推進するためには地域ケア会議の充実を図る必要がある。
- ・地域包括支援センター単位で個別ケース（困難事例）の解決等を行う地域ケア会議（個別会議）は、地域包括支援センターの96%（2016年度）で実施されているが、地域包括支援センターの中でも内容や実施回数など取組に差が見られる。また、市町単位で地域課題の解決や政策形成等につなげる地域ケア会議（推進会議）は、市町の66%（2016年度）で実施されており、年々実施率こそ上昇しているが、未だに実施されていない市町がある。
- ・地域ケア会議については、「必要な専門職の参加が困難である」、「ケアマネジャーの理解が十分でない」、「地域課題が政策につながらない」、「住民に理解されていない」などの課題がある。
- ・また、これまでの地域ケア会議は、困難事例解決の協議がほとんどであるが、今後は、自立支援、重度化防止、介護予防の視点をより重視して地域ケア会議に取り組むことが求められる。

取組の実施内容、実績

○市町職員や地域包括支援センター職員の制度理解や実践力向上のため、地域ケア会議活用促進研修を実施する。

<H30 実績>

地域ケア会議活用促進研修（一般社団法人静岡県社会福祉士会への委託）

区分	東部会場	中・西部会場
日時	1月22日(火)	1月21日(月)
場所	プラサヴェルデ 301・302会議室 (沼津市大手町)	掛川グランドホテル シャングリラスイート (掛川市亀の甲)
参加者	行政職員、地域包括支援センター職員 186名	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議の行政説明 静岡県健康福祉部長寿政策課</li> <li>・講義 「地域ケア会議と生活支援体制整備事業における協議体 講師 土屋 幸己 氏（一般社団法人コミュニティネットハピネス代表理事）</li> <li>・市町の事例紹介（東部会場：伊東市、函南町 中・西部会場：磐田市、藤枝市）</li> <li>・グループワーク</li> </ul>	

○地域ケア会議が自立支援、介護予防・重度化防止等に資するものとなるよう、市町職員や地域包括支援センター職員の制度理解や実践力の向上を目的とする研修を実施する。

<H30実績>

(1) 介護予防ケアマネジメント研修

ア 介護予防ケアマネジメント実務者研修

開催日	内 容	対象者
2月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義 介護予防・日常生活支援事業における介護予防ケアマネジメントの考え方、演習、グループワーク</li> <li>講師 神奈川県介護支援専門員協会 副理事長 松川 竜也 氏</li> <li>・講義 食べるを支える～口腔健康管理と口腔機能管理～</li> <li>講師 静岡県歯科医師会 理事 大内 仁之 氏</li> </ul>	市町、地域包括支援センター職員、ケアマネジャー 238人

イ 介護予防従事者研修

地区	開催日	内 容	出席者
東部	9月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義（リハビリ専門職団体）平成30年度診療・介護報酬同時改定について</li> <li>講師：加納彰氏（東部）、菊池和幸氏（中部）、小出弘寿氏（西部）</li> <li>・事例紹介（リハビリ専門職、市町行政）</li> <li>地域連携におけるリハビリ職活動事例の紹介</li> <li>・グループワーク</li> </ul>	市町、地域包括支援センター、介護支援専門員等 235人
中部	9月10日		
西部	9月26日		

(2) 総合相談支援 地域ケア会議活用促進研修（静岡県社会福祉士会への委託）

区分	東部会場	中・西部会場
日 時	1月22日 午前10時から午後4時まで	1月21日 午前10時から午後4時まで
場 所	プラサヴェルデ（沼津市大手町）	掛川グランドホテル（掛川市亀の甲）
参 加 者	市町、地域包括支援センター職員 115人	市町、地域包括支援センター職員 71人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議の行政説明 静岡県健康福祉部長寿政策課</li> <li>・講義 「地域ケア会議と生活支援体制整備事業における協議体</li> <li>講師 土屋 幸己 氏（一般社団法人コミュニティネットハピネス代表理事）</li> <li>・市町の事例紹介 ・グループワーク</li> </ul>	

○アドバイザーと連携して、モデル市町における「介護予防のためのケア個別会議」の立上げを支援した。

<H30実績>

年度	モデル市町	アドバイザー
H30	熱海市	県リハビリテーション専門職団体協議会 事務局長 菊池 和幸 氏
	御殿場市	中伊豆リハビリテーションセンター 作業療法士 加納 彰 氏
	小山町	湖山リハビリテーション病院 理学療法士 上野 忍 氏
	富士宮市	ケアル訪問看護リハビリステーション 作業療法士 ピリ 睦 氏
	浜松市	

## 自己評価

研修やアドバイザーの派遣により、自立支援型個別ケア会議に対する市町担当職員やケア会議に参加する多職種が理解が進んだ。

特にアドバイザー派遣では、実際にケア会議の運営を見て、助言をしてもらうことで市町職員の運営に対する不安の解消につながった。

※複数項目に分ける場合には、項目ごとに様式を分けて記入する。

## イ 管内保険者の自己評価結果の概要

管内 35 市町のうち、地域ケア会議に関する目標を掲げていた市町は 13 市町、指標の項目は 15 個あり、そのうち 6 個が 80%以上の達成率、7 個が 60%以上の達成率、2 個が 30%以上の達成率となった。達成率が低い保険者は、目標に対して開催回数が大幅に下回っていた。

## ウ まとめ（ア及びイから考察した現状・課題と対応策）

全ての市町が自立支援型個別ケア会議を実施するよう、市町担当職員の理解促進を図る。

また、予防の視点を持つことの重要性を地域ケア会議に参加する多職種に理解してもらうための研修等を引き続き行っていく。

併せて、開催回数が目標を大幅に下回っているところや初めて開催する市町に対しては、対象選定や運営支援のため、引き続きアドバイザー派遣を行う。